

平成 22 年 3 月 18 日 春日井市地域自立支援協議会 障がい理解普及啓発事業 報告

## チーム・メッセンジャー活動状況について

平成 21 年度より、本部会では、障がいについての理解を進めるため、「チーム・メッセンジャー」を各相談支援事業所が実施することとなった。

春日井市市民からの依頼で、そのグループ（約 10 名以上）の希望に沿った内容を、講座やワークショップ形式で実施している。現在までの活動状況と今後の予定を報告する。

## 1、平成 21 年度メッセンジャーの実施状況

	実施日	依頼グループ	参加者	内容	実施事業所
1	6月19日	介護支援専門員・地域包括支援センター	30名	精神障がいに対する理解を深める	JHN まある
2	7月15日	障がい児支援を目指す学習の会	18名	発達障がいの基礎知識と支援について	あっとわん
3	9月10日	ゆうきネットワーク 知的障がい児を持つ親と児童デイサービス事業所スタッフ	12名	障がい福祉サービスについて：障がい程度区分やサービスの種類、それらの使い方等の理解をすすめる	かすがい
4	10月17日	なっとわあく保護者会知的障がい児を持つ親の会	18名	18歳以降の生活を見据えた、見通しのもてる生活支援について。福祉サービスと家庭の連携について。	あっとわん
5	10月22日	柏原小学校 PTA	30名	子育てと発達障がい 発達障がいの理解から、子育てのヒントを得る	あっとわん
6	11月9日	中部中学校 PTA	30名	思春期の子育てと発達障がい	あっとわん
7	11月17日	子育て支援学習会	14名	発達障がいの基本知識	あっとわん
8	11月24日	春日井市民生委員	69名	地域福祉と障がい理解 (障がいのある子の親への理解と支援)	あっとわん
9	1月19日	グレイスフル春日井	25名	身体障がい者手帳と制度について	春日苑
10	2月16日	中央台小学校 PTA (高森台中ブロック)	49名	発達障がいの基礎理解 発達障がいの理解から、子育てのヒントを得る	あっとわん
			295名		

## 2、現在までの実施についての感想など

平成 21 年度、メッセージャーの実施は、計 10 回。  
参加していただいた方々は、295 名となった。

障がいについての理解を深めたいという想いのある方々にとって、メッセージャーを利用していただくことはとても有効であるという感想が、アンケートの結果で見取ることができた。

特に、精神障がいや発達障がいについては、言葉だけの理解や思い込みにとどまらず、一歩踏み込んだ理解にもなり、自分なりの理解や不透明だった部分の理解も進んだという感想もある。

今後も、ひとりでも多くの方々に、さまざまな障がい理解が進むことを願っている。そして、障がいのある人たちが生活しやすい地域になるのではないかと考える。

## 3、平成 21 年 11 月 22 日（日）講演会の実施

「若者の発達障がいとの付き合い方—思春期から青年期の発達障がいを理解する—」

講師：名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療部 児童精神科 吉川徹氏

会場：春日井市総合福祉センター小ホール 時間：10：00～12：00

参加者： 100 名

アンケート回収の感想より：アンケート回答 81 名

非常に良かった、わかりやすかったという回答が多かった。春日井市では、馴染みのある先生ということもあり、講師の話を書きたかったという回答もいくつかあった。

今後も、講演会を希望する声も多くあり、内容としても、聞いてみたいと思える内容であったようである。

## 4、平成 22 年度の予定

チーム・メッセージャーについては、継続して実施していく。

講演会については、1 回は開催し、内容も今年度好評であった内容に近いもので企画を考えていきたい。